

団体名		一般財団法人 武蔵野市開発公社				
①	指標名	まちづくり事業の拡充			目標値	まちづくり事業における新たな事業展開と拡充
	過去の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:)	まちづくり事業における新たな事業展開と拡充	まちづくり事業における新たな事業展開と拡充	まちづくり事業における新たな事業展開と拡充	まちづくり事業の拡充に必要な事業に継続的に取り組んできた。	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目				(2)事業評価の導入と事務事業の見直し	
	設定理由等	定款で位置付けられた街づくりに関する事業を着実に進めることで、武蔵野市のまちづくりに貢献する。				
②	指標名	不動産賃貸料収入の安定			目標値	1,613,314千円
	過去の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:千円)	1,362,964	1,436,073	1,593,454	決算書報告書における収支決算書の「事業活動収入計」を過去の実績とする。なお、令和3年度から4年度に増加した理由は、会計処理の変更による。	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目					
	設定理由等	事業収入の大半が不動産賃貸料収入であることから、契約により予定している賃貸料収入とその他収入の合計値(収支予算書における「事業活動収入計」)を目標とする。				
③	指標名	持続可能な組織体制及び人材育成の両立			目標値	持続可能な組織体制及び人材育成の両立
	過去の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:)	長期経営計画に基づく組織体制の確立及び人材育成	長期経営計画に基づく組織体制の確立及び人材育成	持続可能な組織体制及び人材育成の両立	組織体制の改善、正規職員の採用(令和3年度、1名)	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目					
	設定理由等	ベテラン職員が3年連続して退職したことにより正規職員が減少した状況において、複数の企画を抱えるまちづくり事業、複数のビルを維持管理する不動産事業、一般財団法人事務局運営という3つの通常業務に加え、将来のF&Fビル建替え検討を踏まえた運営体制を確立しなければならないため。				
④	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム制による業務運営体制を継続する。 ・人材に関して市と連携を強化する ・高度な専門的知見を持った外部専門家と協力する。 ・業務の適切なアウトソーシングを実施する。 				